

専門分野Ⅱ	精神看護学 (実習)	2単位 (90時間)	配当：3年次
-------	---------------	---------------	--------

精神看護学実習の位置づけ
精神看護学は、看護の視点から人々の心の健康に向けて援助することを学ぶ。精神看護は本質的に病や障害をもつ人々と看護者との双方向の援助のプロセスである。人は本来、変化や成長の可能性をもち、その歩みを進める力を自己の内に持っていること、そして（孤独であることの意味も含めて）人は、人と関わる中でこそ、自己を発見し発揮していくことができるという考え方に基づき、心の働きや成長、健康問題について理解し、心の援助や健康について学ぶ。
ねらい
精神障害及び疾病を有する対象に対する関わりや援助の実際のプロセスを実践したり見学したりすることを通して、精神障害をもつ人をありのままに理解し、対象が自己決定し、自分らしく生きていこうとする意志や希望を大切にしつつ、その中で健康問題に対して、対象の生きづらさ、苦悩、それらに対する援助や支持的関わりを実践する。 対象との関わりを通して、対象に関心を寄せ、自己を振り返り、自己理解を深めるとともに、関係性が持つ力が看護となることを学ぶ。精神看護における看護の役割についても学ぶ。
実習目標
1) 対象をありのままに理解する。 2) 患者・自己関係の中から看護者としての自己を理解する。 3) 対象に関心を寄せ対象の気持ちに寄り添い、対象との関係性を深化させる。 4) 対象のセルフケア能力の回復・維持・向上に向けての援助を実践する。 5) 精神看護について自己の考えを述べる。
実習施設
・ 京都府立洛南病院 ・ 障害福祉サービス事業所